

第二回 クライアント管理勉強会 議事録

日時: 2011/11/22(火)14:00~17:00

会場: 丸紅ビル B1F A 会議室

テーマ: ここだけは押さえないクライアント管理

～熟練者が語る企業で行うIT資産管理術(ハードウェア編)～

講演者: 大阪市立大学大学院 創造都市研究科 都市情報学専攻 博士(後期)課程

「システム管理者の眠れない夜」(技術評論社) 著者

柳原 秀基 氏

司会・進行: クライアント管理勉強会座長

PFU ライフエージェンシー株式会社 IT サービス事業部

小玉 稔 氏

当研究会の運営方針により、個人/会社名を特定できる発言、および発表者から公開の許可を得られなかった内容は 議事録より削除されています。あらかじめご了承ください。

◆第1部

講師ご講演

ハードウェア管理の手順書の説明

◆第2部

参加者の自己紹介

◆ディスカッション

Q<小玉氏>: ハードウェアの識別シールを貼っているところは、手を上げて頂けますか。

→(挙手)ほぼ全員張っている

→<A社>貼っていないが、こすれて取れたりしているので、シリアル番号で管理しています。

→<小玉氏>管理しているハードウェアはどこにありますか?しっかり管理している・または定期的に管理できている方は挙手をお願いします

結構見つからなかった経験がある方が多い

→<B社>工場にあるはずですが、リース返却のときに無くて、退職した方が持って帰ってしまったらしいです。後日、誰が使っていたのかを確認したのですが、持って帰りたかったデータがあったので、持ち帰ったらしいです。

→<C社>廃棄が決まった際に集めたのですが20→18台になっていた事がありました。その中の1台は、メモリやHDDが無かったです。ゴミだから持って帰っても良いと間違えていることがあり、大騒ぎになったことがあります。

→<小玉氏>不要ハードウェア(以下、H/W)廃却の際、管理番号も貼っていませんでした。みんなあさりに来て、中身を持ち帰っていたユーザがいました。現在は資産管理番号の金属シールを貼って、シリアル番号とペアで管理するようになっていきます。外国産のPC等は、ハード鍵を掛けられるようになりもしています。H/Wの構成を変えてはダメだということです。

→<柳原氏>拡張メモリを持って帰るなよ!と思います。実際、そういう出来事もありました。

→<C社>シールを貼らないとだめかもしれないです。また、勝手に拡張する人もいました。管理されていないと思っている人もいました。

→<小玉氏>インベントリ収集できちんと押えておかないと、やっぱりいけないですね。しかし、情報システムだけではダメで、やはり人事部門と一緒に、ルールを作って運用することが大事だと思います。その辺りが、ITだけで完結しないので、IT部門の運営の難しいところです。

Q<小玉氏>人事部門と連携を取って、ルール違反などの対処ができる状況にある企業はありますか？

→(挙手)ほとんどいない

→<小玉氏>弊社はしっかりやっており、懲戒処分もあり得ます。しかし、罰則も個人攻撃ではなく、組織に対してフィードバックするようにしないといけないと思います。やはり、ルールを作る必要がありますね。

→<D社>IT部門にまかせきりというスタンスです。数年前にウイルス被害があり、工場でUSBによりラインが止まってしまった事があります。“ライセンス管理や資産管理ツールを導入することにした時には、生産ラインが止まる可能性があるのでもしっかりやりましょう。”という形で逆に動いていると思います。ウイルス騒ぎが無かったらできて無かったかもしれません。

→<小玉氏>何か事件があると、ピンチではあるのですが、予算を組むチャンスでもあります。是非頭の中に入れておいて頂ければと思います。

→<C社>Windows XPのサポートが2014年までです。本当にまだ残っているのか？を管理したほうがいいです。国会でも情報漏洩が発生しているのです。

→<小玉氏>Windows XP(以下、XP)の脆弱性を突いてくるのが増えてくると思うので、今後脅威として頭の中に入れておいて頂ければと思います。

→<E社>あと2年もあると思っているのですが・・・。

→<座長>あと2年しかないと思ったほうがいいです。

→<柳原>XPが標準のところは、手を上げてください。

→(挙手)ほとんどの方々がXP

→<F社>計測機器はレガシーシステムで古いOSが多いです。1台数百万のシステムなので、買い換えるのにも問題があります。

→Q<C社>国会のウイルスと同じで、隔離をするしかないのではないのでしょうか。

→<柳原氏>大学ですと、実験装置や測定装置は、WindowsNTや95、2000等が稼働しています。基本的には、そういうPCはN/Wから切り離しています。お金も掛かるので、それしか方法がないと思います。

→<小玉氏>緊急対策としては、N/Wから切り離して管理をしていますが、長期的に見ると、たな卸しをしておき、廃棄に至る予定を入れておく必要があります。最近のPCは、ライフサイクルが短くなってきており、OSも、新しいH/Wがベースに作られています。また、CDブートもなくなって、DVDブートになってきています。CPU、メモリもそうです。最近、クライアントPCに64GBのメモリが積める状況になっています。マイクロソフトは、しっかりと、新しいプラットフォームを前提にソフトウェアを作っています。他のソフトメーカーもそうです。更新予算を考えて組んだことありますか？

→<B社>組んだことはありますが、更新を出しているにも関わらず、経営如何によっては、延長されたりします。

→<柳原氏>リース延長は、1/12になるので、経営者にとっては魅力的であります。ただ、1回手を染めてしまうと、延長ばかりになってしまいます。

→Q<小玉氏>上にどれだけ説得できるか？は、数字を出すしかないです。そのためには、資産管理のDBがないとだめです。具体的に説明をしないと、上は分かってくれません。常日ごろから上に対するプレゼンテーション(アピール)はしっかり行なっていますか？

→(挙手)あまり手が挙がらない

→<C社>XPを今セットアップすると、3時間ぐらい掛かってしまいます。OSが重くなるので、相対的に遅くなっています。

→<柳原氏>このPC重いと思うことが多いのですが、数値化することはできないものですかね？
どれぐらい重いか？を数値化したいのですが。

どれぐらい皆さんが快適なコンピュータを使っているか気になりませんか？

→<C社>立ち上がるまでの時間で図ったらいかがでしょうか？

Q<小玉氏>お配りした手順書の中に、「標準的なクライアント」という概念があります。OSはみなさんではXPが標準となっている様ですが、標準クライアントとはどんな印象を持ちますか？

→<G社>メモリは2G、CPUは2.3です。営業は基幹システム+Officeが入っており、管理用は営業用+管理用ソフト、国際は営業用+国際用ソフトです。監査用は全部入っています。

→<柳原氏>PCの型番とかはどうですか？

→<G社>昔は1社のみでしたが、現在はマルチベンダーです。ハードの統一ですが、今はできていない状況です。

Q<小玉氏>ここまでが社内標準としているとかありますか？

→<H社>社内で使う機種を決められています。事務用パソコンという同じものです。

→<小玉氏>標準クライアントと言うことは考えていますか？

→<I社>1年に60台ぐらい購入する等の話をしています。ですので、比較的統制されていると思います。

→<柳原氏>それであれば、統制されていると思います。

Q<小玉氏>買うときに購買統制がされていますか？

→(挙手)7割ぐらい

→<G社>勝手に買ってくる場合もあります。

→<J社>固定IPなので、ちょっと知っていれば繋がる状態にあります。入札になってPCを購入するので、機種名もバラバラです。

→<K社>事務職は統率ができていますが、現場は勝手に部門で買ったりしています。会社としても、勝手に買って来たものは仕方が無いという風潮があります。

Q<B社>そのソフトウェアの管理等はどうしていますか？

→<K社>「ウイルスワクチンソフトとNotes以外は各自で管理してよ」と言うことにしています。

→<H社>弊社では、自部門で予算を取っているが、それなりの手続き、決済ルールが決まっています。

→<小玉氏>ベンダー企業は購買がバラバラであるところもあると思いますが、ユーザ企業としては、集中購買をする必要があります。ただし、ルールを決めておく必要があります。社長にもルールを徹底しておく必要があります。

Q<柳原>中小企業のオーナー社長ですと、説得は大変ではないでしょうか。サラリーマン社長であれば統制もできると思いますが、オーナー社長は苦勞しているのではないのでしょうか。

→<小玉>耐用年数を明記しておけばいいのではないかとと思いますが、いかがでしょうか。

→<H社>官公庁系のところは、5年リースであれば、そこで終わるので一定期間で更新されています。買取するお客様は、時代もあると思うので、使えるだけ使うと言われています。この為、一概に耐用年数を決めるのは難しいです。買い替えのルールを決めるのがポイントになるのではないのでしょうか？
マイクロソフトのサポートを目安にするのが良いかもしれないです。

Q<小玉氏>Windows Vista(以下、Vista)を買っている人はいますか？

→<J社>PCの購入時期がちょうどVistaの時期で、予算が余っており購入してしまいました。しかし、メモリが1GBだったので重かったです。

→<C社>予算申請は2回しかチャンスが無いので、XPのリプレイスはそろそろ動き始めないといけません。

→<E社>台数が少なく、費用は300万ぐらいなので、どうにかなると思っています。その際に、何を買おうかなと思っています。

→<小玉氏>どんどんリリースされていくので、迷うと思います。なので、時期を決めて判断したほうが良いです。

→<B社>弊社は、Linuxとオープンオフィスに変えましたが、Excelのマクロが問題になります。

→<H社>弊社は、マクロはどんどん廃止にしています。そうしないと、引き継げないので。

→<柳原氏>内部統制では、変更を管理して行かないといけないので、マクロは履歴管理ができないので、なくしていったほうが良いです。Accessで作ったものとかも撤廃して行ったほうが良いです。

Q<小玉氏>廃棄/返却はきちんと管理しているでしょうか？ リース、レンタルについては、物を返さないといけないので、付属品の管理が必要です。付属品の管理はどうしていますか？

→<G社>ACアダプタがなかったことがあったりします。

→<C社>リカバリCDがなくなったりします。

Q<小玉氏>データ消去は行なっていますか？

→<E社>データ消去の業者に依頼をしています。

→<D社>HDD物理破壊をしています。

Q<柳原>壊れたHDDの買い取り以外ではなにを行なっていますか？

→<B社>リース、レンタルは、使うものには同じHDD等を買ってきて、壊れたものはずっと保管していました。

→<G社>電子レンジみたいな専用装置で消去しています。

→<F社>最近のHDDは、壊しやすくなっています。

→<小玉氏>IDEケーブルの20GBぐらいのHDDは硬いので大変です。

→<柳原氏>皆さんの意見をまとめると、方法は3つ。電子レンジ方式、最近のHDDであれば物理破壊、壊れないものは保管ですね。

→<座長>一昔前の中古パソコンでは、復元ソフトでデータが復元できたりしましたので、皆さん出口(廃棄/返却)管理もしっかりしましょう。

入口と出口、両方ともお金が掛かることを皆さん再認識しましょう。